

県下

(1月11日) 度第B651 鹿寺倉線(息 助道路修繕設 託(米原市能 万5千

正和設計 2万 10千 (1月13日) 度第11号湖東 土質調査業務 百夏町他) 万3千 新洲 7万 15千

(1月13日) 度第30-3号 区補助急傾斜 策工事(東近 外町) 80万 大翔 370万 60万6千

(1月13日) 設工事(35- 来賓として近畿地方整備局の渡辺学局長、前局長で地盤工学会関西支部の東川直正支部長が祝辞を寄せた。

57(北大路三丁目ほか) 1億5300万 城陽興業 1億4186万4千

予告

国・その他

★URコミュニティ (1月30日開札) 指名競争・04-男山団 地B11号棟他12棟屋内 給水管共用修繕工事 監督業務(京都府八幡 市男山弓岡5番地他) (1月31日開札) 指名競争・04-明石舞 子団地駐車場修繕その他 工事変更設計(兵庫 県明石市松ヶ丘二丁目 5番地) (2月6日開札) 指名競争・04-鷺洲団 地外4団地外部金物その他 塗装工事設計業務 (大阪市福島区鷺洲三 丁目7番25地)

大阪府下

★高槻市契約検査課 (1月30日開札) 指名競争・塚脇1号線 ほか舗装補修工事(原 ほか地内) 371万6千

指名競争・白梅町2号 線ほか植栽工事(白梅 町ほか地内) 153万 131万2千

★高槻市水道部 (1月30日開札) 指名競争・栄町一丁目 地区口径100耗配水

管改良工事(栄町一丁 目地内) 308万

★泉大津市総務課 (1月27日開札) 指名競争・助松公園ア ールろ過機交換工事 (松之浜町一丁目地内) 6566万 5890万9千

★西日本高速福知山 高速道路 (3月1日開札) 福知山高速道路事務所 管内(特定更新等)ト ンネル補強工事発注用 図面作成業務

取りやめ

高槻市水道部 (1月30日開札) 指名競争・栄町一丁目 地区口径100耗配水

あさかわシステムズ (泉佐野市)は、東京証券取引所TOKYO PRO Marketに新規上場を申請した。上場承認を前提に1月26日の上場を予定している。同社は1984年7月設立で、建設業界向けE

TPM上場へ

あさかわシステムズ RP(統合基幹業務システム)の開発・導入をはじめとするITソリューションの提供を行っている。主力パッケージソフトウェア「ガリバー」は、累計で約1000社の導入実績を持つ。担当者は「上場を機に

BIM/CIMシステム 「Qa-Slab」を開発 オフィスケイワンと大林組

の拡大を図るとともに、「バックオフィス・技術・現場管理部門におけるワンストップソリューションを提供することで、DXが遅れている業界全体の改革に貢献することで、働き方改革を全面的にバックアップする姿勢だ。確認しているという。また割り付け機能の他、新設床版のハンチ形状態シミュレーション機能、既設床版のジャッキアップ孔配置機能、4D施工計画シミュレーション機能などがある。既設鋼桁の3次元モデリングは、鋼橋CIMシステム「CIM-GIRDER」を採用。合理化設計に加えて板継ぎ入力を機能追加することにより、建設当時の道路橋示方書に対応した3次元モデルを作成することができ

オフスケイワン(大阪府西区)は、大林組(東京都港区)とBIM/CIMシステム「Qa-Slab(キョア・スラブ)」を共同開発した。高速道路リニューアル工事における床版取り換え工事の生産性向上を支援するシステムで、新設床版と壁高欄の割り付け、既設床版の切断位置の決定(カット割り)などをあらかじめ登録したルールを基に、自動で複数案作成できる。関係者協議により決定した設計プランは、平面図や3次元モデルなどのデジタルデータに変換して次工程に引き継ぐことが可能。同システムによる割り付け作業の実証テストでは、従来作業に比べて90%の生産性向上を

短信

◆Osaka Metro-SDGsへの取り組みについて、各テーマと課題を具現化し、それに紐づく事業活動などをまとめた「SDGsの推進について」を公表。グループ全体で、2030年度にCO2排出量削減率(13年度比)46%を目指す。

◆翔設計-西日本支社大阪事務所を大阪市北区天神橋2ノ5ノ25に移転し、1月23日から業務を開始する。電話番号は06(7777)9666。

PC基礎コンクリートを販売

REDUCE PROが発足

プレキャスト基礎コンクリート「REDUCE PRO」を販売するREDUCE PRO(大阪府中央区)が2022年12月12日に設立された。総販売代理店として、販売業務の他、リース業務や人材派遣業、開発・設計・建築などのコンサルタント業務を行う。

プレキャスト基礎コンクリート「REDUCE PRO」は、単独置き基礎として建築確認申請・瑕疵(かし)担保保険に対応している。墨出し工事や型枠工事、鉄筋工事などの工程の省略により木材や粉じんなどの産業廃棄物を削減できる。またミキサー車やポンプ

車などの使用も抑えられるため、ガソリンや排気ガスを軽減することも可能。作業現場での騒音や振動も低減できることから、周辺住民への環境配慮を促進する。使わなくなったREDUCE PROは違つ場所で再利用できるなど、単独置き基礎としてのリユースが可能だ。19年に特許を取得している。問い合わせは電話06(4706)8815。